

⚠️ 麻しん(はしか)患者が増えています！

お子さまの予防接種

麻しん・風しん混合ワクチン

# MRワクチンは済んでいますか？

現在、都内および国内で麻しん(はしか)患者の発生例が増加しており、今後も流行の拡大が懸念されます。海外渡航歴のない感染者も増えており、学校や職場での感染が疑われる症例も報告されています。麻しんは非常に感染力が強い病気です。空気感染、飛まつ感染、接触感染でヒトからヒトへ感染します。

## 【主な症状】

感染すると約10～14日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れます。2～3日続いた後、39度以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人程度の割合で脳炎が発症すると言われています。

## 最も有効な予防法はワクチン接種です ～母子健康手帳を確認しましょう！～

- ▷ 定期接種(1歳と年長児に計2回)の対象年齢&学年になったら、早めに接種しましょう！
- ▷ 定期接種を受けていないお子さまも、無料で接種できる場合があります！

### 定期接種(無料)

MRワクチン:麻しん・風しん混合ワクチン

- 1回目:1歳児(1歳の誕生日の前日から2歳の誕生日の前日まで)
- 2回目:小学校入学前の1年間(年長児)

### 定期接種の延長(無料)

※令和6年度にワクチン供給が不安定になったことによる延長措置です。

次の①と②に該当するお子さまは、**令和9(2027)年3月31日まで**定期接種で受けられます。

- ① 年少児 ※令和4(2022)年4月2日～令和5(2023)年4月1日生まれ
- ② 小学2年生 ※平成30(2018)年4月2日～平成31(2019)年4月1日生まれ

### 任意接種(無料)

定期接種を対象期間内に受けられなかった③～⑤に該当するお子さまは、任意接種で受けられます。※区内の指定医療機関のみ

- ③ 2歳から年中児(令和4(2022)年4月1日生まれまで)まで
- ④ 小学1年生から小学6年生まで
- ⑤ 中学1年生から19歳(20歳の誕生日の前日まで)まで

【定期接種と任意接種の違い】  
ワクチン接種により健康被害が生じた場合に受けられる救済制度の内容が異なります。

	1歳 になったら	2歳～年中児	年長児 になったら	小1～小6	中1～19歳
定期	1回目		2回目		
定期(延長)		①(年少児)		②(小2)	
任意		③(年少児以外)		④(小2以外)	⑤



文京区 保健衛生部 予防対策課 感染症対策担当(16階)

TEL 03-5803-1834

詳しくはこちらをご覧ください

